

7/7 地域の方と七夕の会


かわせみの会の方と一緒に笹に短冊を飾る子どもたち

田原交流センターで、田原幼稚園の年長児と地域の高齢者サロン「かわせみの会」の皆さんが、七夕の会を行いました。子どもたちは、事前に園で書いてきた短冊や飾りを、笹に飾ったり、一緒に「たなばたさま」の歌を歌ったりして交流を楽しみました。

短冊には「お絵描きが上手になりたい」「大きなトンボを捕まえたい」など思い思いの願いが綴られていました。

6/29 フェルトのバッグづくりに挑戦


裁縫ボランティアに教わりバッグを作る園児

磐田北こども園で、年長園児が裁縫ボランティアの方々と一緒に、フェルトのバッグづくりに取り組みました。園児たちはフェルトと糸の色を選び、裁縫ボランティアの方とペアになって針の扱い方を教わりながら、バッグ部分の縁を一針ずつ丁寧に縫い進めました。

縫い終えた園児からは「楽しかった」「上手に作れてうれしい」などの感想が聞かれました。

7/8 消防署による「花火教室」


使い終わった花火の取り扱いを教わる園児

幼年消防クラブ活動の一環で消防署による「花火教室」が竜洋東こども園で行われました。幼年消防クラブは、市内の幼稚園・保育園・こども園の園児で構成され、火災予防への意識を育むことを目的に、正しい火の取り扱いを学ぶ活動を行っています。

当日は、年長児が消防署員から花火を安全に楽しむための注意点について説明を受けた後、園庭で実際に手持ち花火を体験しました。

7/7 主権者教育「給食大臣を選ぼう」


投票箱に投票用紙を入れる児童

豊田南小学校で磐田市明るい選挙推進協議会が主催する主権者教育「給食大臣を選ぼう」が、静岡産業大学の協力のもと行われました。「給食の食べ残しを減らす」という身近な課題をテーマに模擬選挙を体験し、選挙の仕組みや投票の意義について学びました。

会場には実際の選挙で使用される記載台や投票箱が用意され、実物と同じ仕様の投票用紙で支持する候補者に投票しました。



7/15 J2 優勝、J1 昇格を目指して



ジュビロ磐田代表取締役社長の^{おおもともたけひさ}大友健寿さん（右）

ジュビロ磐田代表取締役社長の^{やまさしゆんすけ}大友健寿さん、代表取締役副社長の八牧駿介さんが、2026/27シーズン明治安田J2リーグ開幕の報告のため草地球場市長を訪問しました。

大友社長は「次のシーズンはさらに躍動するフットボールを目指します。ファンの皆さんにもスタジアムの素晴らしい雰囲気を一緒に作っていただきたいと思います」と話しました。

7/9 トウモロコシ狩りに行こう



収穫したトウモロコシを嬉しそうに持つ園児

豊田東幼稚園の年長児が、今年の4月に自分たちで苗を植え、JA 青年部の皆さんに生育のサポートを受けて育った約340本ものトウモロコシを収穫しました。

園児たちは「大きいトウモロコシが取れた」「いっぱい取れた」などうれしそうに話していました。収穫したトウモロコシはお土産として家庭に持ち帰りました。

7/15 地域とつながる学び



ブルーベリーを収穫する児童

向陽小学校の1年生が、地域のブルーベリー農家「^{とうよう}橙香園」でブルーベリー狩りを行いました。子どもたちは広い農園の中で、熟した実を見分けながら収穫し、その場で味わい、あわせて持ち帰り用の容器に詰める分も収穫しました。

子どもたちの「たくさん取れた」「お家でお母さんにあげるんだ」といったうれしそうな声が響き、笑顔があふれていました。

7/9 静岡県温室メロン品評会受賞報告



市長に報告する^{みつや}大橋満也さん（中央）

第74回静岡県温室メロン品評会において最高位の農林水産大臣賞を受賞した大橋満也さんが市長へ受賞を報告しました。

大橋さんが「過去には悔しい思いもしましたが、今回受賞することができてほっとしています」と喜びを語ると、草地球場市長は「おめでとうございます。熱い思いと高い技術力が今回の結果につながったと思います」と祝福しました。